

名古屋大学工学部の学生が小渋ダムを見学

名古屋大学工学部の学生、院生および留学生37名と教員（教授、准教授）2名が、小渋ダムを見学に訪れました。

一行は当日の朝名古屋を出発し、伊那谷の天竜川上流河川事務所と飯田国道事務所の現場を見学した後、小渋ダムを訪れました。ダムは4月上旬の長雨により水位が上がったため、2門のコンジットゲートから放流中であり、この時期としては珍しい迫力のある光景が見られました。学生たちは職員の説明を聞きながら堤頂（ダムの上）を歩き、職員に質問をするなど熱心に見学をしていました。

●見学日時：4月24日（金） 14:30～15:10

●参加者：学生および教員 39名

●見学場所：小渋ダム（長野県上伊那郡中川村大草 6884-19）

●見学内容：ダムの概要説明、堤頂からのダム本体の見学

